

事業報告

(様式1)

多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)

【資料8】

事業計画	R4年度具体策等	実施内容 (事業報告)	事業計画と実施内容が異なる理由	業務改善に向けた分析
1 組織及び人員体制				
(1)人員配置計画	<p>センター長・副センター長 予約管理コーディネーター3名 産業交流コーディネーター3名 広報マーケティングスタッフ1名 テクニカルスタッフ2名 施設保全管理スタッフ7名 を当初計画</p> <p>(施設保全管理業務) 最小限の人員配置を実施。</p>	<p>センター長・副センター長 予約管理チーム6名 総務・広報担当1名 施設運営マネージャー(施工・管理等)1名 非常勤支援(本社・外部委託)による産業コーディネーション担当2名</p> <p>(施設保全管理業務) 施設保全管理業務責任者1P 設備スタッフ 宿直:1P、日勤:1~2P 警備スタッフ 宿直:4P、日勤:1P 清掃スタッフ 日勤:4P 施設利用率によって増員 受付スタッフ 日勤:1P (早番1P、遅番1P)</p>	<p>予想以上に予約管理部分に工数がかかる一方、産業支援部分はR4年度についてはそれほど大きな業務とはならず、当初計画とは異なる人員配置となった。予約管理を手厚くすることで、開業から数ヶ月の業務集中を適切に処理できた。</p>	<p>産業コーディネーション部分の人員を拡充していくこと、またイベント運営についての専門人員の追加を視野に入れる必要がある。</p> <p>(施設保全管理業務) 清掃に関しては、運営側との連絡を綿密に行い、清掃のスケジュール調整を上手く行う事によって、無理無駄のないポスト配置を行い、効率よくかつ円滑な運営管理を行う。</p>
(2)職員の能力向上及び労働環境整備	<p>職員教育とマニュアルの整備 基礎研修および技術研修の実施 具体的には接遇研修、コンプライアンス研修・危機管理研修等</p> <p>(施設保全管理業務) 自社を含む各研修への出席、施設保全に関する資格の取得</p>	<p>□実施済み研修 ・ビッグサイトで実施されている展示会の実地研修 ・JCSで運営している他施設(紀尾井カンファレンス)の視察研修 ・イベント総合EXPOへのブース出展を通じた実地研修 ・個人情報保護を中心としたコンプライアンス研修 ・消防計画についての研修</p> <p>□資格取得 防火防災管理者講習終了(2名)、2級電気工事士資格取得(1名) 衛生推進者講習終了(3名)</p> <p>(施設保全管理業務) ・東京都総務局主催『指定管理者への労務管理に関する講習会』出席 ・近隣複合施設『J:COMホール八王子避難訓練体験コンサート』出席 ・社内研修『メンタルヘルス研修』出席 ・社内研修『産業廃棄物研修』出席 ・防火管理技能者講習修了(1名)</p>	<p>計画段階に比べて、より現場の実情に即した研修を実施した。</p> <p>(施設保全管理業務) ・公益財団法人東京都環境公社主催の『産業廃棄物管理責任者講習』受講希望であったが、全ての回が定員数オーバーであり、受講出来ず。</p>	<p>月1回の全体研修日(R4年度も後半で実施)を設け、引き続き必要な研修を実施する。職員にイベント業務管理士等、業務上で役立つ資格の取得を奨励し、受講・試験費用などを補助する。</p> <p>(施設保全管理業務) ・清掃のスキルを上げていき、適格な用具、適切な薬剤を使用し施設的美観維持に努めていく。 ・昨今のニュースを鑑み、警備員のみならず設備員に対しても不審者を想定した訓練等を定期的に行っていく必要性を感じている。(さすまたの使用訓練など)</p>
(3)業務執行体制	<p>センター長、副センター長を統括部門とし、産業コーディネーション、予約管理チーム、テクニカルチーム及びKSSが統括する施設保全管理部門との密接な連携、報告・相談を実施する。 毎日の朝礼・終礼の実施</p>	<p>当初計画同様の執行体制を実施。毎朝9:00の朝礼、毎夕16:00の終礼を実施し、翌日の催事についての開扉タイミングや清掃等の業務確認は毎夕実施している。施設内外の有事については、センター長・副センター長(JCS)と防災センター責任者(KSS)とで相談の上対処。</p>	<p>特になし</p>	
(4)法人組織全体での支援体制	<p>管理運営部門を統括するJCSにおいては、本社の直轄部門であるMICE推進部、及び財務経理部・法務部・広報部等が必要に応じてバックアップや第三者チェックを行う。</p> <p>施設管理部門を統括するKSSでは、同様にビル管理事業本部：聖蹟桜ヶ丘支店が現場をサポートする。</p>	<p>左記と同内容の体制で業務を実施した。</p>	<p>特になし</p>	
2 施設の効用発揮に向けた取組				
(1)産業振興のための取組方針				
①産学・産産連携の実現のための取組方針	<p>開業初年度として、 ・データの活用 ・専門家の活用 ・産学、産産の交流促進 ・情報発信 に必要な準備ならび各機関との関係構築を行う。</p>	<p>首都圏産業活性化協会(TAMA協会)、大学コンソーシアムとの関係構築、東京都立大学、工学院大学、東京工科大学、東京高専等との具体的な案件を通じたネットワーク作りを実施。 東京工科大学主催の産官学連携による八王子隣接地域交流会等へ出席した。</p>	<p>システムの立ち上げが遅れたため、データの活用は今後の課題。</p>	<p>八王子近接地区以外の多摩地区ではまだまだ知名度が低く、引き続き知名度を上げるための活動を実施する必要がある。産学連携についてはR5で計画中の催事等を通じ、大学・研究機関の多い多摩地区にある施設として、今後も積極的に進めていく。</p>

事業報告

(様式1)

多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)

【資料8】

事業計画	R4年度具体策等	実施内容 (事業報告)	事業計画と実施内容が異なる理由	業務改善に向けた分析
②広域的な産業交流の実現のための取組方針	開業初年度として、 ・情報発信 ・他団体との連携 ・利用者の交流促進と有益性向上 に必要な準備ならび各機関との関係構築を行う。	たましん記者懇談会(2022/11/24)、産業のまちネットワーク総会(2023/2/3)での登壇、当施設のプレゼンテーション、多摩地区全市の市役所産業振興課・商工会を訪問し、当施設についての告知宣伝活動を実施。	特になし	神奈川、埼玉、山梨といった近県についての取り組みがR4年度はできなかったため、これら地域を視野に入れた活動を模索していきたい。
(2)利用者の利便性向上のための取組	・来場者目線でのサイン配置の追求 ・ホームページ等のコンテンツの充実で、利用者が必要な情報にアクセスできるよう配慮 【具体策】 ・詳細なフロア図、レイアウトデータの提供 ・本施設及び周辺エリアの魅力を視覚的に伝えられるショートムービー ・指定管理者の日本コンベンションサービス株式会社はイベント運営会社でもあり、運営視点からの提案を実施	・開業式典ムービー(施設紹介等)のウェブサイト上での公開 ・施設公式X(旧Twitter)の開設(イベント情報、休場日、キッチンカー情報の発信等) ・設営計画等におけるJCS運営目線からのアドバイス等		特にウェブサイトやSNSを通じた継続的な情報発信を今後も行う。同時に発信の量と質との向上を企図していく。
(3)自主事業の企画提案				
①備品の貸出し・サービスの提供 (募集要項5(1)①で定める自主事業の提案)	【無料サービス】 ・ソフト面:サイネージ掲示、ケータリング紹介サービス、会場設営・図面作成 【有料サービス】 ・ハード面:プロジェクター、自立式スクリーン、Web会議セット、手元明かり、有線・ワイヤレスマイク、レーザーポインター・クリッカー、トランシーバー、ICレコーダー、液晶モニター、ポータブルステージ一式、三つ折りパーティション、L字フロアスタンド、テーブルクロス、ハンガーラック、クロックチケット、貴名受け ・ソフト面:看板制作	【無料サービス】 ・ソフト面:デジタルサイネージ掲示、ウェブサイトへの催事掲示、ケータリング紹介サービス、無料Wi-Fi 【有料サービス】 ・ハード面:追加マイク類、ポータブルステージ設営、展示パネル設営、テーブルクロス、ハンガーラック、スポットライト ・ソフト面:各種看板制作、設営撤去サービス、電気工事、有線LAN、図面制作、追加音響映像サービス、Web会議対応サービス、清掃・ごみ処理サービス	施設引き渡し後に、会議室・展示室の実態に合わせて最適化を行った結果。	利用者のニーズに合わせて、必要と思われるメニューを今後も追加していく。
②自主企画による展示会等の催事の運営等 (募集要項5(1)②で定める自主事業の提案)	・多摩地域で生産されている農産物等の魅力を生産者から消費者へ伝える場の提供	農産物等の魅力を伝えるイベントの検討を進めるとともに、屋根下広場前に、キッチンカーが定期的に出店する体制を整備。自主事業の一環として運営している。	農産物等の魅力を伝えるイベントについて企画を進め、キッチンカーの出店体制整備を自主事業として実施した。	R5年度は大恐竜博、7月に農産物等の魅力を伝えるイベントを実施。
(4)稼働率向上のための取組方針	・プロモーションによる集中的な認知拡大 ・内覧会開催	・8-9月に各種視察対応に加え、都民向け内覧会を実施。	計画段階よりも、実態に併せて制作物の点数を増やす、個別対応の内覧を数多く実施し、細かい要望を吸い上げるなど、よりきめ細かな対応を実施。直前期で集中的に内覧を実施することである程度の認知を獲得できた。	計画時は産業支援・交流を中心とする利用にターゲットを絞った形であったが、開業後の実際のニーズや、立地条件などを勘案すると、産業の概念をより広範に捉える必要がある。教育産業やエンタメ産業、観光産業なども視野に入れて、今後誘致を行う際の長期計画を策定していく。
3 収支計画等経営計画				
(1)収入確保・経費節減等経営方針				
①施設稼働率や利用件数等に関する目標設定	事業計画提出時はコロナ禍であり、見通しが不透明であったため、R4年度の稼働率は抑えめに設定。	R4年度は最終的に展示室約30%、会議室約40%の稼働率を達成。(詳細データは様式5参照)	新型コロナ感染第8波が開業後に訪れたが、ほとんどの催事が中止・延期等を行わなかった。また、会議室について当施設の価格や利便性を評価した利用者が、積極的にリピート利用を行ったため。	会議室については、一定ボリュームのリピーター顧客を一年目から獲得することができた。一方で展示室については利用にムラがあるため、安定稼働のために広報・営業等をさらに注力していく。
②費用対効果を向上させるための取組み	・専門家を配する広報・デジタルマーケティング、的確な戦略に基づく誘致・営業活動、リピーターを確保するための適切で高品質なサービス提供 ・JCS本社側での提案営業	・コーディネーターによる手厚い対応はリピートオーダーにつながる一つの要因となっている。 ・JCS本社側での営業で顧客を獲得し、R5の利用申請(申請はR4年度)につなげることができた。 ・催事主催者向けの広報として、MICE Japan、Event Marketingへの出稿や、多摩信用金庫、帝国データバンク、首都圏産業活性化協会(TAMA協会)の機関誌インタビュー等を受ける。 ・備品調達については4-7Fのテナント部分も含めて、KSSが効率的に調達。	施設稼働率向上のために、催事主催者向けの広報を重点的に行うこととしたため、京王線沿線情報誌などの活用は見送った。	開業後実際に見えてきたニーズに合わせ、ターゲットになりうる業界メディアへの集中的な広報実施を検討(教育産業、eスポーツなど)

事業報告

(様式1)

多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)

【資料8】

事業計画	R4年度具体策等	実施内容 (事業報告)	事業計画と実施内容が異なる理由	業務改善に向けた分析
③エネルギーコスト削減につながる施設保全管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> 適切な温度設定。 スケジュール管理による照明・空調機器のON/OFF制御。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央監視システムの空調スケジュール設定による細かなON・OFF。 入居機関連去確認後の中央監視システムによる空調機の切り忘れ確認。 照明制御盤による照明スケジュール管理を行い無駄のない照明制御を行っている。また入居機関連去後、制御盤にて照明消灯確認を行い、照明の切り忘れチェック実施。 施設予約キャンセルなどスケジュールより早く消灯できる状態が発生したときには、現場サイドから連絡をいただくようにし、スケジュールより早めに消灯するなど省エネに努めた。 DHC利用によるCO2削減。 太陽光発電による省エネ実施。 	特になし	運営初年度という事もあり、前年度データがないことから手探り状態であり、空調設備の特徴(部屋の大小による冷暖の速度や利用者の温度の感じ方)がつかめなかった。R5年度はR4年度データを有効活用し、コスト削減に向けより細かな管理ができるよう努める。
(2)利用料金の設定方針	<p>利用料金は条例に基づく価格設定。自主事業として、利用者の利便性向上に資する施策を展開。安価でわかりやすい料金体系</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金については条例に基づいて設定。特に会議室については安価であることが評価され、リピートオーダーにつながっている。 自主事業については開業当初、電気工事料金が高いという指摘が一部利用者からあったが、その後電源ビットだけではなく、ホワイエ側・バックヤード側出入口の壁コンセントを利用できるよう案内。 自主事業で実施している備品有料貸出について、特段の指摘はなく、料金設定に関する問合せには市場価格より安価に設定している旨をご説明している。 	特になし	追加備品の料金についてのご意見をいただいているが、実際に相見積もりを取ると、運搬費も入るため、当施設での調達があれば一番安価になる。ご理解を得られるよう、丁寧に説明を続けていく。
4 サービスの向上に向けた取組				
(1)円滑な業務運営				
①利用受付及び利用料金収受の方法	<p>利用受付について</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期順位受付制度と随時受付制度を採用し、①設置目的に沿った利用、②公の施設としての役割、③公平で透明性のある手続きの三つの視点に基づき運営。 <p>利用料金収受の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定口座への振込。会場利用料金は前納制、備品や電気料金等は後納。 	<p>左記の計画通りに実施運営。R4年度4月の定期順位受付では6件の申込みがあった。利用受付はメール等で受け付けを行った。</p>	特になし	<p>利用予約に対する定期順位受付の占める割合が低いため、定期順位受付がよりよく利用されるよう、特にリピート顧客などを中心に呼びかけていく。</p>
②催事準備に関する利用者調整の方法	<ul style="list-style-type: none"> 利用案内を作成し、円滑な搬入出のノウハウ・注意事項等予め周知 事前打ち合わせにおいて搬入出の物量を確認。施設全体のスケジュールを調整。車両一台あたりの駐車時間の縮小や、荷捌き場の円滑な運用、また近隣道路の渋滞緩和に配慮。 	<p>利用案内とコーディネーターからの案内、説明で搬入出の注意事項を伝達。事前の車両証発行手続き時点で、搬入車両の台数や物量を把握し、設営・撤去の時間的余裕と齟齬がないかを確認。タイトなスケジュールの場合は、グループを分けて時間帯別に搬入出させるなどの手法を提案。</p>	特になし	施設としての開館時間厳守、混雑によるリスクなどを丁寧に説明し、理解を求めていく。
(2)業務改善及びサービスの向上				
①苦情等に対する対応方法	<ol style="list-style-type: none"> 予防策 適切に対応するための取組み 	<p>苦情は都度真摯に対応し、東京都へ報告・共有している。</p> <p>西側道路の交通整理のために、敷地と道路を隔てるイレクターフェンスの導入や、警備員の声が気になるという苦情に対し、車両整理の際、声を使わず旗などで整理を行う等、現場で対応可能な改善策を積極的に実施している。</p>	特になし。	<p>住宅地隣接の施設として、催事主催者・近隣住民の双方の理解を得られるよう、調整を行う。</p>
②利用者要望の業務への反映方法	<p>利用者アンケートによる顧客満足度の数値化。また、当施設における課題の抽出を行い、東京都産業労働局への報告・提案を実施する。</p>	<p>利用者アンケートの集計結果に詳細(様式3)</p> <p>アンケートはエクセルのフォーマットに入力してもらいメール添付で回収。回答比率は展示室利用者の30%程度</p>	特になし。	<p>アンケートからの意見については東京都に報告し、トイレや駐車場のサイン関係など、改善可能な部分はR4年度中にも反映済。今後同様のPDCAサイクルを実施していくために、システム経由でのアンケート回収など、回収率を上げる施策を実施予定。</p>
(3)指定管理業務の適切な継続	<p>利用者情報・利用履歴や利用者の声(アンケート等)等をデータで提出し、引き継ぎが必要な場合は、東京都指導のものと、説明会等を実施する。</p>	<p>基本的な必須資料はすべてデータで東京都に納品済み。</p>	特になし	
(4)その他の取組事項	<p>利用者、ビジネスパートナー、地域社会、職員、調達取引先など、さまざまなステークホルダーとの対話を行い、継続的なサービス向上、当施設の価値向上を図る。</p>	<p>左記の内容を日常業務の中で積極的に対応中</p> <p>全国展示会連絡協議会についてはR5年度初頭の加盟を目途に手続き中</p>	特になし	
5 施設管理実施方針				

事業報告

(様式1)

多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)

【資料8】

事業計画	R4年度具体策等	実施内容 (事業報告)	事業計画と実施内容が異なる理由	業務改善に向けた分析
(1)管理運営業務に関する実施方針				
①法令遵守及び手続の公平性・透明性	・法令遵守にもとづき管理運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイページでの個人情報取得に対してはマイページ利用規約及び個人情報保護方針について、利用者の同意を得た上で、利用承認している。マイページ及びその他の手法で取得された営業情報・個人情報については東京都の基準に沿って適正管理を実施。 ・公式ウェブサイトについては英語の簡易ページを掲載。 ・左折入庫・左折出庫、駐車場出入口の出入庫管理の徹底。 ・避難経路への物品放置は無いか毎日の巡回で確認を行っている。 ・中水をトイレに使用しているため下水増量の申告を2か月に1回水道局へ申告。 ・ビル管理事業法、都発行「維持保全業務標準仕様書」に基づく点検回数を遵守し、各種点検業務を行った。 ・新築物件1年目に測定するホルムアルデヒド測定の実施。 	ごみ排出量の報告は、初年度であったためR4年度計画の未提出。R4年度排出量報告、R5年計画については5月中旬にまとめ、八王子市へ報告する予定。	・年間計画を組み、点検・報告の漏れがないよう心掛ける。 また、初年度であったため法定点検が免除であったものがあるので、R5年度点検の失念が無いよう注意する。(建築12条点検)
②施設の維持管理方針	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の設備、警備巡回及び清掃。 ・年間計画を基にした設備点検の実施。 ・資格の更新や研修受講を怠らないようにし、最新の情報(法令)を得るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社による、設備業務、清掃業務、警備業務、事務処理関係の業務監査をおこない、問題のある点は注意指導を受け、改善を行った。 ・弊社社員(約20名)を集め、建物設備、内外観のチェックを行い、不具合箇所については瑕疵箇所として東京都に報告を行った。 ・庁舎会議室棟3階、展示棟2階の清掃に清掃ロボットを使用。清掃員確保難の解消に取り組んでいる。 		・各所員の技術力向上、知識習得を心掛け、施設環境維持につながる管理、提案を行っていく。また、弊社によるインスペクションを継続して行っていく、業務改善を進めていく。
(2)危機管理対応に関する実施方針				
①予防保全を基本とした維持管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機のメンテナンス ・防災備蓄品の確認 ・警備・設備巡回時の避難経路確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の地震情報がメール受信されるようになっており、発生頻度の高さから予防ができると考えている。 ・近隣複合施設『J:COMホール八王子避難訓練体験コンサート』一般客として訓練参加 ・防災備蓄品の在庫確認 ・非常用発電機の点検および燃料残量確認 ・警備・設備巡回時、避難経路に荷物が置いていないか、防火扉、防火シャッターラインに荷物が置いていないかの確認。 		・今後も複合施設の参加型の消防訓練があれば参加していきたい、参考にできる訓練方法等があれば取り込んでいく。
②防災関連マニュアルの策定及び周知	<ul style="list-style-type: none"> ・防災関連マニュアルを東京都と協議して策定を進める ・消防計画の習熟。変更点はすぐに改定していく。 ・ハザードマップの確認 ・都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアルの確認 ・災害時特設公衆電話の設置確認 ・衛生無線機の使用方法確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都と策定する防災関連のマニュアルについては整備中。 ・防災センター内にハザードマップ(2022年度)を掲示 ・都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアルを警備と共有し、確認を行った。 ・災害時特設公衆電話の設置位置確認(設備員、警備員) ・衛生無線機の使用マニュアルを防災センターの誰でも見れる位置に置いている。 		・年度替わり毎にハザードマップ更新の確認。
③訓練の実施と防災意識啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の防災訓練の実施。 ・消防署との良好な関係 	地元消防署とは適宜連絡を取り合い、相談・指導を頂いている。	・コロナ禍のため、現地での実地訓練は行わないことにした。	・コロナが5類となることで実地訓練が可能になると思われる。訓練を行う事で建物クセや消防計画の欠点が見えてくると思うので、消防署にアドバイスをいただきながら習熟に努めていく。
④確実な避難誘導の体制づくり	運営側との情報共有。役割の確認をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> ・休場日研修を利用した訓練。(日本コンベンションサービス) ・休日、夜間時間帯を利用した、訓練の実施。(防災センター) 	施設運営初年度、コロナ禍ということもあり、各機関共に個々の業務が忙しくなってしまう、個々での訓練となってしまった。	・今後はイベントも増えてくると思われるので、消防訓練共々、各機関連携し行っていくようにする。
⑤帰宅困難時の一時滞在施設・東京都現地機動班参集拠点としての運営	東京都と連携し「一時帰宅困難者対応マニュアル」を作成するとともに、受け入れ訓練等を実施し、災害時に都や八王子市等と連携して対応を行う体制を構築する。併せて一時滞在施設と現地機動班参集拠点を効率的に運営できるよう、関係機関と調整する。	八王子駅周辺滞留対策推進協議会に八王子市生活安全部・防災課を通じて加盟。責任者をセンター長、担当者を副センター長が務める。他施設との連絡網を確認。またKSSと連動し、施設の災害備蓄品数の把握などを実施。	市との連携については八王子駅周辺貸借者推進協議会が既にあり、市役所を通じて協議会に加盟した。	協議会の知見を共有していただき、当施設でのマニュアル整備や訓練を進める。
⑥安全安心な施設運営に向けた対策	<ul style="list-style-type: none"> ・設備員の知識習得。新しい機器や法令更新の有無など、研修や講習を頻繁に受け、日々新しい情報を得るようにする。 ・万全な不審者対策を築いていく。 ・警察との良好な関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災センター要員、消防技術訓練の更新切れ等無いようにした。 ・有資格者を条件とし事業所員を選任。 ・全所員AED講習受講。 ・挨拶をする、身だしなみを整える(設備・清掃:作業着、警備:制服)、最低限の社会人マナーを心掛けるよう指導。 ・不審者と思われる人物の来館がみられ、警察署へ相談。対策等アドバイスをいただいた。 	・コロナによる講習人数制限等もあり、講習の予約が取れず、資格取得に時間が掛かることが幾度か発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と思われる資格・知識があったら、所内で情報共有し、取得に向け自己啓発に励む。 ・AED講習等、更新期限きれなどないよう継続的に講習を受けていく。

事業報告

(様式1)

多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)

【資料8】

事業計画	R4年度具体策等	実施内容 (事業報告)	事業計画と実施内容が異なる理由	業務改善に向けた分析
⑦センター長をトップとした自主防災本部の設置	夜間災害などの発生が予測されるとき、または発生した際にはセンター長をトップとした自主防災本部を設置する。	管理権原者をセンター長、統括防火防災管理者を副センター長として、館全体の消防計画を作成済み。	特になし	コロナ禍のため、防災訓練は机上訓練のみを実施した。今後、地元の消防署の協力を得て、実地の避難訓練の実施を計画する。
⑧適切な保険付保によるリスク移転	施設管理者賠償責任保険、サイバープロテクターを付与	開業10月14日以降で左記の保険を付与。ただし補償は計画より厚くし、施設管理者賠償責任保険、サイバープロテクターを付与	昨今の訴訟、また特に情報漏洩関連の事故は増加していく傾向にあり、より補償を厚くしておく必要があったため。	R5年度も同様の補償内容で保険を継続済。
⑨施設及び周辺の防犯対策	・定期的な巡回、近隣施設の確認。	・防犯カメラの位置を再確認し、定期巡回時、死角となる箇所の重点確認をおこなっている。 ・不審者らしき人物を見つけたとの情報が入った際は、防犯カメラにて足跡を追い、階段等死角となる箇所の巡回を行った。 ・事件・事故・交通事故・交通渋滞などの原因になりうる、近隣情報(新しい建物が出来た、工事現場ができてい)を、防災センター内で共有している。 ・弊社近隣事業所と連携をとり、不審者情報などがあれば情報共有するようにしている。		・死角場所に警告文を貼る、照明を点灯させるなど、注意喚起をおこない事件・事故を防いでいく。 ・近隣との交流を心掛け、有効な情報をいただけるような関係を築いていく。
⑩その他	電力不足時の暫定的なバックアップとして「移動電源車」の将来的な導入や周辺自治体との連携による配備体制の構築を提案	電源車については導入せず。	施設に太陽光パネルが設置されていること、展示室で利用可能な電源が面積に比して大容量であること、電源車が高額であること、また住宅地に隣接しており、電源車の稼働音が問題になることなど、複数の要因から導入不要と結論。	
(3)行政との連携に関する取組方針				
①東京都との連携	・当施設の管理運営に関する現状、課題の情報共有について「運営連絡会議」を設置。 ・災害時には館内デジタルサイネージ等で情報発信 ・AED、災害支援型販売機等の整備、備蓄品の取り扱い等	・情報・課題共有の場である東京都定例会議を、指定管理者と東京都間で定期開催。開業前は毎週、開業後は隔週ペースにて継続中。 ・クラウドポイントのエアートーカーを導入。有事には館内デジタルサイネージに情報発信できるシステムを整備。 ・AEDを館内に6台配備。管理事務室前に災害支援型自販機を設置。		コロナ禍のため、防災訓練は机上訓練のみを実施した。今後はリアルでの訓練も計画する。
②地域警察署および消防署との連携	・地域の警察署や消防署と防災・防犯に関しての定期的な情報交換の場を設定検討 ・地域警察・消防と連携した訓練の実施 ・反社対応マニュアルの整備 ・防災指針の策定、利用者の自衛消防隊編成の徹底	・必要に応じて八王子消防署、八王子警察署を相互訪問し、情報共有と適切な指導をいただいている。 ・コロナ禍のため八王子消防署に相談し、訓練は机上訓練のみ実施した。 ・施設としての消防計画は作成済み。展示室利用者については自衛消防隊組織図の届け出を義務化。	利用に際して問題が発生すると思われる主催者については、都度、東京都に対応を相談。	
(4)地域貢献活動に関する取組方針				
	・ごみ持ち帰りルールの徹底 ・車両制限・時間規制による近隣道路の渋滞緩和 ・地域交流の促進に寄与	・ごみ持ち帰りルールについては徹底。加えて、ごみ処理サービスを自主事業で実施。 ・施設への搬入車両については、利用者への案内を徹底して実施。施設利用者の車両で近隣道路が渋滞した例は現状報告されていない。 ・屋根下広場の大階段について、商業利用でない場合については、写真撮影や軽食スポットとして、近隣住民に提供している。(大型催事が重なっていない場合)また、屋根下広場前にキッチンカーを設置し、合同庁舎職員や近隣住民にも利用いただいている。	音量測定等を実施したが、施設内での音が近隣に大きくもれることはほばない	

事業収支

(様式2)

多摩産業交流センター

単位:円

(1) 収入		年度計画	実績	差引増(△)減	対計画比(%)	備考
利用料金収入	展示室	11,700,000	29,822,500	18,122,500	254.9	
	会議室	3,858,000	12,392,000	8,534,000	321.2	
	附帯設備	704,000	2,413,740	1,709,740	342.9	
	臨時供給(電気・水道・産廃)など		280,538	280,538	0.0	
	小計	16,262,000	44,908,778	28,646,778	276.2	
自主事業充充分	360,000	0	△ 360,000	0.0		
指定管理料収入(ii)	264,205,000	264,205,000	0	100.0		
建物維持管理負担金	22,430,000	13,351,469	△ 9,078,531			
合計 (A = i + ii + iii)	303,257,000	322,465,247	19,208,247			

単位:円

(2) 支出		年度計画	実績	差引増(△)減	対計画比(%)	備考
①多摩産業交流センターの管理運営業務		303,257,000	322,448,047	19,191,047	106.3	
人件費	正規職員	79,202,000	85,199,576	5,997,576	107.6	
	正規職員以外の職員		17,410,012	17,410,012	0.0	
	小計	79,202,000	102,609,588	23,407,588	129.6	
事業費	事務室賃料	1,200,000	1,200,000	0	100.0	
	光熱水費	46,705,000	41,557,716	△ 5,147,284	89.0	
	建物管理業務(設備運転・監視)			0	0.0	
	建物管理業務(警備)	35,182,000	35,181,742	△ 258	100.0	
	建物管理業務(清掃業務)	27,074,000	27,074,260	260	100.0	
	建物管理業務(環境管理業務)	338,000	338,210	210	100.1	
	建物維持管理負担金	61,925,068	52,846,537	△ 9,078,531	85.3	
	定期点検及び保守	32,301,000	32,300,975	△ 25	100.0	
	その他建物管理費	2,637,932	2,637,561	△ 371	100.0	
	情報システム管理費	10,750,000	18,760,000	8,010,000	174.5	
	通信費	3,600,000	5,400,000	1,800,000	150.0	
	広告宣伝費	1,742,000	1,744,000	2,000	100.1	
	公租公課			0	0.0	
	その他経費	600,000	797,456	197,456	132.9	
	小計	224,055,000	219,838,459	△ 4,216,541	98.1	
指定管理事業 計(i)	303,257,000	322,448,047	19,191,047	106.3		
(3) 収支差額 (収入(A) - 支出(B))		0	17,200	17,200		

利用者アンケート結果

多摩産業交流センター

(1)実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
2022年10月～2023年 3月	29	メールによるアンケート送付(添付ファイル)に対する書面ないしはメールでの返送。

(2)利用者評価結果概要

評価項目	満足度
施設・ 設備管理	<p><施設・設備備品についての満足度></p> 大変満足(8件:27.6%) 満足(14件:48.3%) どちらかといえば満足(6件:20.7%) どちらかといえば不満(0件:0%) 不満(0件:0%) 大変不満(0件:0%) 未記入なし(1件:3.4%)
接客対応	<p><職員についての満足度></p> 大変満足(15件:51.8%) 満足(12件:41.5%) どちらかといえば満足(1件:3.4%) どちらかといえば不満(1件:3.4%) 不満(0件:0%) 大変不満(0件:0%)

(2)利用者評価結果概要

サービス	<p><施設選定の理由>*複数回答可</p> 立地条件:15 会場規模:12 予算・利用料金:9 会場スペック:7 アクセスの良さ:4 知名度:2 その他:2 利用実績:0
総合評価	<p><総合的な満足度></p> 大変満足(8件:27.6%) 満足(17件:58.6%) どちらかといえば満足(2件:6.9%) どちらかといえば不満(0件:0%) 不満(0件:0%) 大変不満(0件:0%) 回答なし(2件:6.9%)

建物管理業務実績

多摩産業交流センター

建物管理業務基本事項		実施状況	実地調査
1 業務責任者の選任	(1)建物管理統括主任 (2)設備、警備、清掃、各業務主任	配置	
2 法定資格者の選任	(1)電気主任技術者(第3種以上)	主任実務経験3年以上の者に限る	配置
	(2)建築物環境衛生管理技術者	実務経験2年以上のものに限る	配置
	(3)甲種防火・防災管理者資格者、防災センター要員講習修了者及び自衛消防業務講習修了者	施設の統括防火管理者となるもの(施設共同自衛消防組織の本部隊長兼任)	配置
	(4)甲種防火・防災管理者資格者及び防火管理技能者	各施設における消防計画及び共同防火管理協議会事項の策定を行う ・防火・防災訓練案の策定・実施等に当たる	配置
	(5)防災センター要員講習修了者及び自衛消防業務講習修了者	防災センター勤務者全員	有資格者を配置
	(6)自衛消防技術認定資格取得者	防災センター勤務者全員	有資格者を配置
3 台帳類の整備	(1)施設保全台帳 (2)鍵台帳	(1)建物概要、設備概要・仕様、修繕・工事、トラブル対応ほか記録 (2)区分管理(指定管理、八王子市保健所、都税事務所、南多摩西部建設事務所、浅川林務事務所)	ファイリング管理
4 保全管理業務の計画、報告	(1)業務責任者、法定資格者一覧、連絡体制票	①業務責任者(担当一覧表) ②法定資格者一覧(所員資格一覧表) ③緊急連絡体制	・ファイリング管理 ・緊急連絡網については掲示
	(2)日報、月報	①出勤予定表(警備・設備・清掃・受付) ②月間作業予定表(設備・清掃) ③日報(警備・設備・清掃・受付・主要設備) ④月報(警備:北側ゲート月間対応集計表、受付:月間対応集計表) ⑤建物維持管理定期業務報告書 ⑥負担金計算書	・各書類ファイリング管理
5 官公庁へ申告・報告・届出	【官公庁】 水道局、消防庁	①減水量申告書(隔月上旬) ②消防設備等点検結果報告書 ③統括防火防災管理者選任届出書 ④全体についての消防計画作成届出書 ⑤自衛消防組織設置届出書 ⑥防火管理技能者選任届出書 ⑦防火防災管理者選任届出書	・届出実施
6 法定点検実施	(1)建築基準法第12条点検 (2)フロア・排気抑制法点検 (3)防火対象物点検 (4)防災管理点検 (5)防火設備点検	(1)特定建築物定期検査(1回/1年)、建築設備定期検査(1回/年) (2)簡易点検(2回/年) (3)定期点検(1回/年) (4)定期点検(1回/年) (5)定期点検(1回/年)	・法定通り点検実施 ・(1)(5)は、初年度のため点検無し

維持管理に係る業務名	対象	募集要項(参考頻度)	事業計画	実施状況	実地調査
建物管理業務					
1 設備運転・監視	設備点検基準表	設備運転・監視、保全管理業務仕様書	・毎日実施	計画通り実施	
2 警備保安業務	①常駐 ②機械(夜間) ③駐車場・駐輪場	警備保安業務仕様書	①常駐警備 ②夜間機械警備あり ③駐車場・駐輪場トラブル対応	計画通り実施	
3 清掃業務	①日常清掃 ②定期清掃 ③窓ガラス清掃	清掃基準表(Ⅰ)、Ⅱ)、清掃作業内訳表	委託契約内容に沿って ①日常清掃:毎日実施 ②定期清掃:年間計画に基づき実施 ③窓ガラス清掃:年4回実施	計画通り実施	
4 受付業務	庁舎様1階受付業務 早番(8:10~13:30) 遅番(12:00~17:10)	各入居機関へ、案内希望を確認	・土日祝、休館日以外、実施。	計画通り実施	
5 展示場業務	①電気・水道・音響設備 ②可動壁設置収納 ③貸出備品清掃 ④催事案内取清掃 ⑤荷捌場・貨物EV利用管理	展示場業務仕様書	①電気・水道設備:検針はKSSにて実施、場内設備はJCSが管理 音響設備:使用説明後は利用者が使用 ②可動壁設置収納:JCSにて都度実施 ③貸出備品清掃:定期清掃にて実施(年2回) ④催事案内取清掃:必要に応じてJCSにて対応 ⑤荷捌場・貨物用EV利用管理:KSS/JCS	計画どおり実施	

建物管理業務実績

多摩産業交流センター

維持管理に係る業務名	対象	募集要項 (参考履歴)	事業計画	実施状況	実地調査	
定期点検及び保守						
6	電気設備	① 受変電設備 ② 耐熱盤点検 ③ 直流電源装置 ④ 太陽光発電設備 ⑤ 非常用発電設備 ⑥ 構内情報設備 ⑦ 構内電話交換設備 ⑧ 放送設備 ⑨ 緊急地震速報設備 ⑩ ITV設備 ⑪ テレビ共同受信設備 ⑫ 時計設備 ⑬ 入退室管理設備 ⑭ マルチサイン装置および出退表示装置 ⑮ 障がい者誘導支援設備 ⑯ 誘導支援設備	設備仕様書、図面	①:毎年9月全館休館日に実施。 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩:年1回実施 ③④⑤:年2回点検実施 ⑥⑦⑧:年間保守契約	計画通り実施	
7	監視制御設備	① 中央監視盤設備 ② 自動制御設備 ③ 照明制御設備	設備仕様書、図面	・毎日自主点検実施 ・①②年2回メーカーによる点検実施 ・③年1回点検実施	計画通り実施	
8	空調・換気設備	① 外気処理空調機(OHU) ② 空調機(AHU) ③ 空冷ヒートポンプエアコン ④ ガスヒートポンプエアコン ⑤ 放熱器・冷温水ポンプ ⑥ 送風機・換気扇 ⑦ 加湿器 ⑧ 制気口(HS,VHS,アネモ、BL、CL、ノズル) ⑨ 脱気装置 ⑩ 熱交換器 ⑪ 膨張タンク ⑫ 風量調整ダンパー	設備仕様書、図面	①②:年2回実施 ③④:年4回実施 ⑤⑥⑦:年2回実施 ⑧:年5回実施 ⑨⑩⑪⑫:年1回実施	計画通り実施	
9	エアフィルター洗浄	① 外気処理空調機(OHU) ② 空調機(AHU) ③ 空冷ヒートポンプエアコン ④ ガスヒートポンプエアコン	設備仕様書、図面	・①②プレフィルター年4回実施、中性能フィルター年1回交換実施 ・③④年2回実施	計画通り実施 ・中性能フィルターに関しては、R4年度は運転時間が少なかったため未交換。	
10	空調系水質管理	① 加湿用水 ② DHC冷水・温水	設備仕様書、図面	① 一般細菌、大腸菌検査:年1回実施 ② (1回/月のPHおよび電気伝導率が基準値に適合しない場合)	① 計画通り実施 ② 電気伝導率基準値問題なし。	
11	給排水衛生設備	① 受水槽清掃点検 ② 雑用水槽清掃点検 ③ 加湿給水タンク ④ 加湿給水ポンプユニット ⑤ 雑排水槽清掃 ⑥ 汚水槽清掃 ⑦ 沈砂槽清掃 ⑧ 雨水ろ過設備 ⑨ 電気瞬間湯沸器 ⑩ 電気温水器 ⑪ 排水ポンプ ⑫ 衛生器具	設備仕様書、図面	①②③④⑤:年1回実施 ④⑥⑦:年2回実施 ⑤⑥⑧:年3回実施 ⑦:1回/2年 実施	①～②計画通り点検・清掃実施 ※⑦1年目につき未実施。	
12	消防設備	① 消防設備等定期点検(機器・総合) ② 防火対象物点検 ③ 防災管理点検	設備仕様書、図面	① ビル全体管理として、防災センター主導にて: ・総合点検:年1回実施 ・機器点検:年1回実施 ②③年1回実施	計画通り実施	
13	昇降設備	① エレベータ設備:6基 ② エスカレータ設備:2基	設備仕様書、図面	①:メーカーFM契約(遠隔装置付)4回/年 有人点検実施。 ②:メーカーFM契約。 毎月の設備点検日に有人点検実施	計画通り実施	
14	建築設備	① 管理・防火シャッター:19台 ② 自動ドア:6台 ③ 駐輪場管制設備 ④ 車止めチェーン ⑤ ガソリントラップ・外構側溝 ⑥ 避雷設備 ⑦ 灌水システム ⑧ 高所作業車特定自主点検 ⑨ マンセーフシステム ⑩ グリストラップ清掃	設備仕様書、図面	①④⑥⑧⑨:年1回実施 ②③⑤:年2回実施 ⑦:年4回実施 ⑧:1年目のため免除 ⑩:年3回実施	計画通り実施	
15	移動間仕切壁	・1F4箇所(展示室ABCD) ・3F2箇所(第1会議室、第2会議室)	設備仕様書、図面	・年1回実施	計画通り実施。	
16	環境衛生業務	① 空気環境測定 ② 水質検査 ③ 害虫検査	建築物環境管理業務仕様書	① 空気環境測定: ・引渡し1年までは、毎月実施(ホルムアルデヒド点検実施) ・引渡し1年経過後は、隔月実施 ② 水質検査:(上水)年2回実施 ③ 害虫生息調査:毎月実施	計画通り実施	

利用実績

区分	令和4年度												合計	事業計画	対計画比(%)	前年度実績	対前年度比(%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
展示室	総使用日数							9.45	12.59	9.47	5.75	7.35	8.54				
	全館換算日数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.58	12.14	8.08	4.78	5.88	7.53	47.98	5.00	959.54%	#DIV/0!
	利用料金(A)	0	0	0	0	0	0	5,938,000	7,389,000	5,039,500	2,955,000	3,752,000	4,749,000	29,822,500	11,700,000	254.89%	#DIV/0!
	日中							4,114,000	6,067,000	3,906,000	2,172,000	3,257,000	4,241,000	23,757,000	7,872,000	301.79%	#DIV/0!
	夜間							1,722,000	1,097,000	1,012,000	736,000	430,000	415,000	5,412,000	3,888,000	139.20%	#DIV/0!
	夜間搬出 時間外							63,000	119,000	54,500	32,000	21,000	38,000	327,500	0	#DIV/0!	#DIV/0!
会議室	総使用日数							9.45	12.59	9.47	5.75	7.35	8.54				
	全館換算日数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.37	13.29	12.62	8.95	10.67	10.57	65.46	20.09	325.78%	#DIV/0!
	利用料金(B)	0	0	0	0	0	0	2,023,000	1,950,800	2,425,200	1,886,000	1,997,000	2,110,000	12,392,000	3,858,000	321.20%	#DIV/0!
	日中							1,624,000	2,145,000	2,139,000	1,529,000	1,942,000	1,891,000	11,270,000	2,700,000	417.41%	#DIV/0!
	減額								81,000	273,000		82,000		436,000			
	免除							54,000	890,000	73,000	73,000	260,000	205,000	1,555,000			
附帯設備	展示台							37,620	67,950	23,670	14,850	36,270	45,540	225,900	37,800	597.62%	#DIV/0!
	机							114,640	61,920	58,480	11,920	69,120	64,880	380,960	240,000	158.73%	#DIV/0!
	椅子							318,630	192,400	139,935	167,635	191,620	341,380	1,350,700	390,000	346.33%	#DIV/0!
	放送設備							58,500	112,500	112,500	60,000	93,000	145,500	582,000	9,000	6466.67%	#DIV/0!
	高所作業台													0	27,000	0.00%	#DIV/0!
	減額								1,500	1,500				3,750			#DIV/0!
	免除							1,500	102,570		3,000	7,500	7,500	122,070			#DIV/0!
	利用料金 計(C)	0	0	0	0	0	0	527,890	330,700	332,185	251,405	381,760	589,800	2,413,740	703,800	342.96%	#DIV/0!
合計(A+B+C)	0	0	0	0	0	0	8,488,890	9,670,500	7,796,885	5,092,405	6,130,760	7,448,800	44,628,240	16,261,800	274.44%	#DIV/0!	
実費分	電気							64,192	15,328	10,856	9,016	18,294	6,052	123,738		#DIV/0!	#DIV/0!
	水道													0		#DIV/0!	#DIV/0!
	産業廃棄物													0		#DIV/0!	#DIV/0!
	小計(D)	0	0	0	0	0	0	64,192	15,328	10,856	9,016	18,294	6,052	123,738	0	#DIV/0!	#DIV/0!
実費含む総計(A+B+C+D)	0	0	0	0	0	0	8,553,082	9,685,828	7,807,741	5,101,421	6,149,054	7,454,852	44,751,978	16,261,800	275.20%	#DIV/0!	
自主事業	備品利用料							839,455	908,050	710,380	438,900	1,439,970	717,850	5,054,605	723,850	698.29%	#DIV/0!
	清掃							220,000	221,100	334,400	136,400	228,360	357,500	1,497,760		#DIV/0!	#DIV/0!
	ごみ処理								14,740	81,400		14,960	23,320	134,420		#DIV/0!	#DIV/0!
	設営撤去							527,500	183,500	272,000		704,572	215,000	1,902,572		#DIV/0!	#DIV/0!
	看板							245,240	346,500	11,000	22,000	96,800	48,400	769,940		#DIV/0!	#DIV/0!
	電気工事							2,256,100	586,300	154,000	690,500	355,700	1,108,300	5,150,900		#DIV/0!	#DIV/0!
	音響証明										125,400	112,200		237,600		#DIV/0!	#DIV/0!
	ネット回線							20,000	10,000	70,000	60,000	10,000	50,000	220,000		#DIV/0!	#DIV/0!
	自動販売機							24,345	40,249	50,951	44,941	26,992	32,438	219,916		#DIV/0!	#DIV/0!
	クーリング・キッチン カー								66,671	264,968	74,255	36,330	289,245	731,469		#DIV/0!	#DIV/0!
	コピー機							2,580	2,590	290	1,540	1,370	1,340	9,710		#DIV/0!	#DIV/0!
労働相談									44,000	88,000	176,000	176,000	484,000			#DIV/0!	
自主事業計(E)	0	0	0	0	0	0	4,135,220	2,379,700	1,993,389	1,681,936	3,203,254	3,019,393	16,412,892	723,850	2267.44%	#DIV/0!	
自主事業含む 実績総計(A+B+C+D+E)	0	0	0	0	0	0	12,688,302	12,065,528	9,801,130	6,783,357	9,352,308	10,474,245	61,164,870	16,985,650	360.10%	#DIV/0!	

展示室受付順位別利用実績

(様式6)

年度	令和4年度			前年度			前年度比	
受付 順位	区分	多摩産業交流センター		多摩産業交流センター			多摩産業交流センター	
	件数	利用料金 (円)	構成比 (%)	件数	使用料 (円)	構成比 (%)	件数	利用料金 (%)
		換算日数			換算日数			換算日数
第1順位	6	5,439,000	18.2			0.0	6	#DIV/0!
		8.38						0.00
第2順位	5	1,831,000	6.1			0.0	5	#DIV/0!
		2.82						0.00
第3順位	2	301,000	1.0			0.0	2	#DIV/0!
		0.46						0.00
第4順位	10	7,829,000	26.3			0.0	10	#DIV/0!
		12.06						0.00
第5順位	39	14,422,500	48.4			0.0	39	#DIV/0!
		22.22						0.00
合計	62	29,822,500	100.0	0		0.0	62	#DIV/0!
		45.95						0.00

【主催者のうち中小企業比率 年度実績】

実績 24.3%(1位+2位)

展示室業種・分類別使用状況表（様式7）

多摩産業交流センター		A 呉服		B 衣服身の回り品		C 食料・飲料		D 医療・化粧品		E 機械・用具		F 家具・什器等		G 雑貨		H その他		I 総合		J 文化・教養等		K 試験・就職		L イベント		合計			
		件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料	件数	使用料
1.製造業	大企業									4	4,901,000					1	778,000											5	5,679,000
	中・小企業	1	515,000			1	864,000																				2	1,379,000	
	小計	1	515,000	0	0	1	864,000	0	0	4	4,901,000	0	0	0	0	1	778,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7,058,000	
2.卸売業	大企業	1	459,000							1	698,000	1	392,000														3	1,549,000	
	中・小企業															1	653,000	1	306,000								2	959,000	
	小計	1	459,000	0	0	0	0	0	0	1	698,000	1	392,000	0	0	1	653,000	1	306,000	0	0	0	0	0	0	0	5	2,508,000	
3.小売業	大企業											1	389,000														1	389,000	
	中・小企業			1	140,000							1	412,000														2	552,000	
	小計	0	0	1	140,000	0	0	0	0	0	0	2	801,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	941,000	
4.サービス業等	大企業															3	747,000					1	129,000	1	433,000	5	1,309,000		
	中・小企業															1	255,000					1	129,000	1	658,000	3	1,042,000		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	747,000	1	255,000	0	0	2	258,000	2	1,091,000	8	2,351,000		
計	大企業	1	459,000	0	0	0	0	0	0	5	5,599,000	2	781,000	0	0	4	1,525,000	0	0	0	0	1	129,000	1	433,000	14	8,926,000		
	中・小企業	1	515,000	1	140,000	1	864,000	0	0	0	0	1	412,000	0	0	1	653,000	2	561,000	0	0	1	129,000	1	658,000	9	3,932,000		
	計	2	974,000	1	140,000	1	864,000	0	0	5	5,599,000	3	1,193,000	0	0	5	2,178,000	2	561,000	0	0	2	258,000	2	1,091,000	23	12,858,000		
5.各種組合					1	1,326,000																				1	1,326,000		
6.国・地方公共団体																2	1,174,000	1	1,596,000						2	907,000	5	3,677,000	
7.公益法人																	1	1,965,000								1	1,965,000		
8.その他(任意団体等)	1	458,000					11	1,734,000	1	815,000						7	1,358,500			2	1,873,000	1	109,000	9	3,649,000	32	9,996,500		
合計	3	1,432,000	1	140,000	2	2,190,000	11	1,734,000	6	6,414,000	3	1,193,000	0	0	14	4,710,500	4	4,122,000	2	1,873,000	3	367,000	13	5,647,000	62	29,822,500			

(注) 1. 展示内容の分類は、日本標準産業分類のうち、両館の実情に該当するものを抽出。
 2. 大・中小企業の区分は、中小企業基本法による。

新宿区												1	1	2
杉並区												1		1
墨田区														0
世田谷区													1	1
台東区									1					1
中央区														0
千代田区									1			1	2	4
豊島区														0
中野区													1	1
練馬区														0
文京区									2	1				3
港区										1	1	1	1	3
目黒区														0
島しょ部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県														0
神奈川県								1				1		2
山梨県														0
他道府県								1	1	1	1	1	1	5
合計	0	0	0	0	0	0	5	10	10	7	9	18	59	